

<論文>

著者名	論文標題			
サトウタツヤ・若林宏輔	取調べ可視化論の心理学的検討			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
法律時報	無	83(2)	2011	54-62
著者名	論文標題			
安達俊祐・サトウタツヤ・日高友郎	ビジュアル・エスノグラフィーを用いた ALS 患者のコミュニケーション			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
立命館人間科学研究	有	22	2011	73-86
著者名	論文標題			
上村晃弘・サトウタツヤ	東金女兒遺棄事件に関するブログ記事の分析			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
立命館人間科学研究	有	21	2010	173-183
著者名	論文標題			
Sato, T.	Minding Money: How Understanding of Value is Culturally Promoted			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
Integrative Psychological and Behavioral Science	有	45	2011	116-131
著者名	論文標題			
立岩 真也	障害者運動・対・介護保険——2000～2003			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
社会政策研究	無	10	2010	166-186
著者名	論文標題			
天田城介	社会学の問い方への問い			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
ソシオロジ	無	167	2010	93-102

著者名	論文標題			
天田城介	日付と場所を刻印する社会を思考する——学問が取り組むべき課題の幾つか			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
老年社会科学会	無	32(3)	2010	253-360
著者名	論文標題			
天田城介	思想と政治体制について——ソ連における精神医学と収容所についての覚書			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
生存学研究センター報告	無	14	2010	13-65
著者名	論文標題			
天田城介	生きることを可能にする／困難にする家族——悲鳴が折り重なる場所			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
at プラス	無	6	2011	71-86
著者名	論文標題			
天田城介	「ケア」と「承認」を結びつかせている仕掛け			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
現代社会学理論研究	無	5	2011	印刷中
著者名	論文標題			
山崎優子・入山茂・荒川歩	法と心理学の協働の実際—裁判員制度研究と心理学的解剖研究に接する心理学者の立場から			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
法と心理	有	9	2010	51-56
著者名	論文標題			
OTANI Izumi	'Good Manner of Dying' as a Normative Concept: 'Autocide,' 'Granny Damping,' and Discussions on Euthanasia / Death with Dignity in Japan			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
International Journal of Japanese Sociology	無	19	2010	49-63

著者名	論文標題			
Tomoo, HIDAKA	How Japanese Language Has Been Used and Transformed – Focused on Social-cultural Context and the Use in Communication			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
Integrative Psychology and Behavioral Science	有	44(2)	2010	156-161
著者名	論文標題			
渡邊卓也	自己愛人格と主観的幸福感との関連に及ぼす心的表象の影響			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
立命館人間科学研究	有	22	2011	19-27
著者名	論文標題			
安達俊祐・サトウタツヤ・日高友郎	ビジュアル・エスノグラフィーを用いた ALS 患者のコミュニケーション			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
立命館人間科学研究	有	22	2011	73-86
著者名	論文標題			
Shodo MIZUKI ・ Hirofumi MINAMI	「How Children Perceived Their Hometown From the Viewpoint of Local Environmental Interaction」			
雑誌名	レフェリー 有無	巻	発行年	ページ
RITSUMEIKAN Journal of Human Sciences	有	20	2010 年	65-77

<図書>

著者名	出版者		
Sato, T.	Kazama Shobo		
書名	発行年	総ページ数	
Rises and Falls of Clinical Psychology in Japan. A Prespective on the Status of Japanese Clinical Psychology. Shimoyama, H.(Ed.) An International Comparison of Clinical Psychology in Practice West Meets East, Chapter 10	平成 23 年	18(161-178)	

著者名	出版者		
サトウタツヤ	新曜社		
書名	発行年	総ページ数	
「心の発達と歴史」 日本発達心理学会 編／子安増生・白井利明 責任編集 『時間と人間—発達科学ハンドブック3』、新曜社 第2章	平成 23 年	15(34-48)	
著者名	出版者		
Sato, T., Wakabayashi, K., Nameda, A., Yasuda, Y. and Watanabe, Y.	Information Age Publishing		
書名	発行年	総ページ数	
「Understanding a Person as a Whole: Transcending the Anglo-American methods focus and Continental-European holism through a look at dynamic emergence processes.」 Chapter 5 in A. Toomela (Ed.), 『 <i>Methodological thinking in psychology: 60 years gone astray?</i> 』	平成 22 年	21	
著者名	出版者		
サトウタツヤ	新曜社		
書名	発行年	総ページ数	
方法としての心理学史——心理学を語り直す	平成 23 年	224	
著者名	出版者		
立岩 真也	理論社		
書名	発行年	総ページ数	
人間の条件——そんなものない	平成 22 年	392	
著者名	出版者		
立岩 真也・齊藤 拓	青土社		
書名	発行年	総ページ数	
ベーシックインカム——分配する最小国家の可能性	平成 22 年	348	
著者名	出版者		
天田城介	丸善		
書名	発行年	総ページ数	
社会学事典	平成 22 年	1(306-307)	

著者名	出版者		
天田城介	日本図書センター		
書名	発行年	総ページ数	
高齢者と福祉——ケアのあり方	平成 22 年	18(423-441)	
著者名	出版者		
天田城介	北大路書房		
書名	発行年	総ページ数	
〈当事者〉をめぐる社会学—調査での出会いを通して	平成 22 年	18(121-139)	
著者名	出版者		
天田城介	法律文化社		
書名	発行年	総ページ数	
人権の再問	平成 23 年	26(47-73)	
著者名	出版者		
立岩真也・天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
生存学 Vol.3	平成 23 年	84(6-90)	
著者名	出版者		
天田城介・北村健太郎・堀田義太郎編	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
老いを治める—老いをめぐる政策と歴史	平成 23 年	530	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「老いをめぐる政策と歴史」老いを治める—老いをめぐる政策と歴史	平成 23 年	291(126-417)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「戦後日本社会における医療国家の経済学」老いを治める—老いをめぐる政策と歴史	平成 23 年	27(148-175)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「家族の余剰と保障の残余への勾留—戦後における老いをめぐる家族と政策の（非）生産」老いを治める—老いをめぐる政策と歴史	平成 23 年	23(349-372)	

著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「脆弱な生」の統治—統治論の高齢者介護への「応用」をめぐる困難」老いを治める—老いをめぐる政策と歴史	平成 23 年	38(374-412)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「折り重なる悲鳴—我々は生きるがために家族と暮らす／家族と離れる」『老いを治める—老いをめぐる政策と歴史』	平成 23 年	24(413-437)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
〈ジェネレーション〉を思想化する—〈世代間の争い〉を引き受けて問うこと」『老いを治める—老いをめぐる政策と歴史』	平成 23 年	27(438-465)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「日付と場所を刻印する社会を思考する—学問が取り組むべき課題の幾つか」『老いを治める—老いをめぐる政策と歴史』	平成 23 年	14(466-480)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「底に触れている者たちは声を失い、声を与える—〈老い衰えゆくこと〉をめぐる残酷な結び目」『老いを治める—老いをめぐる政策と歴史』	平成 23 年	26(481-507)	
著者名	出版者		
天田城介	生活書院		
書名	発行年	総ページ数	
「老いを治める—老いをめぐる政策と歴史」 『老いを治める—老いをめぐる政策と歴史』	平成 23 年	10(508-518)	

著者名	出版者		
山崎優子	有斐閣		
書名	発行年	総ページ数	
犯罪心理学 第2章 犯罪者プロファイリングとケース・リンケージ(翻訳)	平成 22 年	253	
著者名	出版者		
山崎優子	現代人文社		
書名	発行年	総ページ数	
死刑と向きあう裁判員のために, 第4章 裁判員の心理と死刑	平成 23 年	印刷中	
著者名	出版者		
玉井真理子・大谷いづみ編	有斐閣		
書名	発行年	総ページ数	
はじめて出会う生命倫理	平成 23 年	21(187-208) 2(313-315)	
著者名	出版者		
Sato, T., Wakabayashi, K., Nameda, A., Yasuda, Y. and Watanabe, Y.	Information Age Publishing		
書名	発行年	総ページ数	
「Understanding a Person as a Whole: Transcending the Anglo-American methods focus and Continental-European holism through a look at dynamic emergence processes.」 Chapter 5 in A. Toomela (Ed.), 『Methodological thinking in psychology: 60 years gone astray?』	平成 22 年	21	
著者名	出版者		
水月昭道	光文社新書		
書名	発行年	総ページ数	
ホームレス博士 ～派遣村・ブラック企業化する大学院～	平成 22 年	214	

<学会発表>

発表者名	発表標題		
滑田明暢・浜田恵理・サトウタ ツヤ・若林宏輔・山田早紀	大学生の著作意識の実態		
学会名	開催地	発表年月	
第 11 回 法と心理学会	京都市(立命館 大学)	2010 年 10 月	

発表者名	発表標題		
Hidaka, T., Mizuki, S., Sato, T., Nameda, A., Wakabayashi, K., Fukuda, M.	The dialogical process in the communication between persons with severe disease and care-giver - focused on the devices supporting the communication of ALS patient		
学会名	開催地	発表年月	
6th International Conference on Dialogical Self	Athens, Greek	2010.10	
発表者名	発表標題		
日高友郎・福田茉莉・若林宏 輔・滑田明暢・佐藤達哉	多様な「時間」の混交が生み出す不規則な秩序		
学会名	開催地	発表年月	
日本心理学会第 74 回大会	大阪府(大阪大 学)	2010 年 9 月	
発表者名	発表標題		
日高友郎・赤阪麻由・福田茉 莉・若林宏輔・滑田明暢・安達 俊祐・サトウタツヤ	協同的営みとしての「沈黙」の生成」: マイクロ分析 に基づく一考察		
学会名	開催地	発表年月	
日本質的心理学会第 7 回大会	茨城県(茨城大 学)	2010 年 11 月	
発表者名	発表標題		
Tatsuya Sato and Jaan Valsiner	Zone of finality and promoter sign create chronotope		
学会名	開催地	発表年月	
6th international conference on dialogical self	Athens, Greece	2010.9	
発表者名	発表標題		
Yoko Matsubara	“Patient’ s Experience and Cyborg Ethics,”		
学会名	開催地	発表年月	
Mechanisation of Empathy in Health Care, International Workshop	Bergamo, Italy	2010.9	
発表者名	発表標題		
天田城介	方法論としてのゴフマン——「酸っぱい葡萄」あるい は「幸福な奴隷」問題		
学会名	開催地	発表年月	
関西社会学会第 61 回大会一般研究報告 B(テ ーマセッション)「<ゴフマンの方法論を再点検 する——ゴフマンは「使える」のか>」	愛知県(名古屋 市立大学)	2010 年 5 月	

発表者名	発表標題		
山崎優子	裁判員裁判の実証的研究からみえてくる今後の課題(シンポジウム「裁判員制度と認知心理学」)		
学会名		開催地	発表年月
認知心理学会		福岡県	2010 年5月
発表者名	発表標題		
福井厚・山崎優子・高山加奈子・藤田政博・森久智江	死刑と向き合う裁判員(ワークショップ)		
学会名		開催地	発表年月
法と心理学会		京都府	2010 年 10 月
発表者名	発表標題		
大谷いづみ(オーガナイザー) 小松義彦・竹田扇・爪田一壽 (報告)	日本における「生命倫理の成立」再考——オーラル・ヒストリー調査の結果から		
学会名		開催地	発表年月
第 22 回日本生命倫理学会年次大会		愛知県(藤田保健衛生大学)	2010 年 11 月
発表者名	発表標題		
サトウタツヤ・日高友郎・福田茉莉・安田裕子・利島保・野口京子	医療・健康と心理学の新しい関係をめざして		
学会名		開催地	発表年月
日本心理学会第 74 回大会		大阪府(大阪大学)	2010 年 9 月
発表者名	発表標題		
サトウタツヤ・安田裕子・山田嘉徳・金田桃子・森直久	複線径路等至性モデル(TEM) 研究の多様性—文化と時間を重視する方法論の展開		
学会名		開催地	発表年月
日本発達心理学会第 22 回大会		東京都(東京学芸大学)	2011 年 3 月
発表者名	発表標題		
Hidaka, T.	Transformation process of the meanings of disease – Life ethnography of multilayered support for ALS patients in home care		
学会名		開催地	発表年月
6th International Conference on Dialogical Self		Athens, Greek	2010 Oct.

発表者名		発表標題	
Hidaka, T.		Living with an intractable disease: Technology and “technical peer-support	
学会名		開催地	発表年月
Workshop: The mechanization of Empathy in Health Care		Bergamo, Italy	2010 Sep.
発表者名		発表標題	
日高友郎		ALS 患者のコミュニケーション支援のエスノグラフィ—「技術ピアサポーター」の活動に注目して	
学会名		開催地	発表年月
日本心理学会第 74 回大会		大阪府(大阪大学)	2010 年 9 月
発表者名		発表標題	
日高友郎		厚生心理学とライフ・エスノグラフィ: ALS 患者の生を支えるコミュニケーション支援の分析から	
学会名		開催地	発表年月
日本質的心理学会第 7 回大会		茨城県(茨城大学)	2010 年 11 月
発表者名		発表標題	
Nameda, Akinobu		Women’s conflicted views towards gender roles in contemporary Japanese society	
学会名		開催地	発表年月
27 th International Congress of Applied Psychology		Melbourne, Australia	July 2010
発表者名		発表標題	
Nameda, Akinobu		How gender exist in self?: Analysing how positions relate each other in performing family work	
学会名		開催地	発表年月
The 6 th international conference on dialogical self		Athens, Greece	October 2010
発表者名		発表標題	
Nameda, Akinobu		Dialogical tension between wife and husband; Different household roles and tension between roles over time	
学会名		開催地	発表年月
The 6 th international congress of Dialogical Self		Athens, Greece	September 2010
発表者名		発表標題	
滑田明暢		ネット掲示板における相談からみる家族内役割分担の公正 Part2	
学会名		開催地	発表年月
日本社会心理学会第 51 回大会		広島県(広島大学)	2010 年 9 月

発表者名	発表標題		
滑田明暢	ネット掲示板における相談からみる家族内役割分担の公正：家事分担を行うなかで何が不満を導いているのか？どのように問題を解決するのか？		
学会名	開催地	発表年月	
日本心理学会第 74 回大会	大阪府（大阪大学）	2010 年 9 月	
発表者名	発表標題		
滑田明暢・濱田恵理・サトウタツヤ・若林宏輔・山田早紀	大学生の著作権意識の実態		
学会名	開催地	発表年月	
法と心理学会第 11 回大会	京都市（立命館大学）	2010 年 10 月	
発表者名	発表標題		
滑田明暢	公正感の形成：家族内役割分担の文脈からの検討		
学会名	開催地	発表年月	
法と心理学会第 11 回大会	京都市（立命館大学）	2010 年 10 月	
発表者名	発表標題		
滑田明暢	インタビューにおける研究関心からずれたやりとり：役割分担を尋ねる調査から		
学会名	開催地	発表年月	
日本質的心理学会第 7 回大会	茨城県（茨城大学）	2010 年 11 月	
発表者名	発表標題		
渡邊卓也・清水智子・山田尚子・藤島寛	自己愛人格と自尊感情との関連（1）—攻撃性についての構造モデルの検討—		
学会名	開催地	発表年月	
日本心理学会	大阪府（大阪大学）	2010 年 9 月	
発表者名	発表標題		
清水智子・渡邊卓也・山田尚子・藤島寛	自己愛人格と自尊感情との関連（2）—潜在的・顕在的自尊感情の組み合わせの効果の検討—		
学会名	開催地	発表年月	
日本心理学会	大阪府（大阪大学）	2010 年 9 月	

発表者名	発表標題		
山田尚子・渡邊卓也・清水智子・藤島寛	自己愛人格と自尊感情との関連（3）—ビッグファイブとの関係—		
学会名		開催地	発表年月
日本心理学会		大阪府（大阪大学）	2010 年 9 月
発表者名	発表標題		
竹田剛・川本静香・渡邊卓也・サトウタツヤ	過去 20 年間の海外における状態自尊感情研究の展望（1）—研究動向の概括的検討—		
学会名		開催地	発表年月
日本パーソナリティ心理学会		東京都（慶應義塾大学）	2010 年 10 月
発表者名	発表標題		
川本静香・竹田剛・渡邊卓也・サトウタツヤ	過去 20 年間の海外における状態自尊感情研究の展望（2）—対応分析を用いた詳細検討—		
学会名		開催地	発表年月
日本パーソナリティ心理学会		東京都（慶應義塾大学）	2010 年 10 月
発表者名	発表標題		
渡邊卓也・川本静香・竹田剛・サトウタツヤ	過去 20 年間の海外における状態自尊感情研究の展望（3）—キーコンセプトに基づいた分類操作—		
学会名		開催地	発表年月
日本パーソナリティ心理学会		東京都（慶應義塾大学）	2010 年 10 月
発表者名	発表標題		
渡邊卓也	高校生の学習習慣と生活習慣, からだの調子のあり方との関連について		
学会名		開催地	発表年月
日本発達心理学会		東京都（東京学芸大学）	2011 年 3 月
発表者名	発表標題		
Mari Fukuda, Tatsuya Sato	Quality of Life In Persons with Muscular Dystrophy: the Example of Constructs of Individual QoL.		
学会名		開催地	発表年月
6th International Conference on the Dialogical Self		Greece, Athens	2010,10

発表者名	発表標題		
福田茉莉・日高友郎・滑田明暢・若林宏輔・水月昭道・サトウタツヤ・中島孝	筋ジストロフィー患者の Individual QOL と家族の関係性：患者のライフストーリーをめぐる患者・家族間のズレに着目して.		
学会名	開催地	発表年月	
日本質的心理学会第 7 回大会	茨城県（茨城大学）	2010 年 11 月	
発表者名	発表標題		
安達俊祐	ALS 患者のコミュニケーションと第三者の影響		
学会名	開催地	発表年月	
対人援助学会	京都市（立命館大学）	2010 年 11 月	
発表者名	発表標題		
安達俊祐	映像を用いた難病患者の生の記述と発信：多声的研究としてのビジュアル・エスノグラフィの試み		
学会名	開催地	発表年月	
質的心理学会	茨城県（茨城大学）	2010 年 11 月	
発表者名	発表標題		
安達俊祐	マルチボーカル・ビジュアル・エスノグラフィーを用いた ALS 患者のコミュニケーション		
学会名	開催地	発表年月	
質的心理学会	茨城県（茨城大学）	2011 年 11 月	
発表者名	発表標題		
水月昭道	ロスジェネに『日はまた昇る』か？—格差社会で希望を探す—		
学会名	開催地	発表年月	
第 83 回日本社会学会大会	愛知県（名古屋大学）	2010 年 11 月	
発表者名	発表標題		
赤阪 麻由	慢性の病いとともに生きるプロセスにおいて抑うつ症状を表出したケースの検討と考察—IBD病者の語りから		
学会名	開催地	発表年月	
対人援助学会	京都市（立命館大学）	2010 年 11 月	

発表者名	発表標題		
(企画、司会)山田早紀、(話題提供)浜田寿美男、脇中洋、村山満明	日本の供述心理学のいま—供述分析の最前線とその可能性		
学会名	開催地	発表年月	
法と心理学会第 11 回大会	京都市(立命館大学)	2010 年 10 月	